

【オレンジコラム 第2号】

兵庫中央病院(以下、当院)は、阪神北医療圏域における認知症医療の中核として、2011年に兵庫県の認知症疾患医療センターに指定されました。認知症疾患医療センターとは、認知症の原因の特定(鑑別診断)、認知症の方の易怒性(怒りっぽい)などの行動心理症状や肺炎などの身体合併症に対する医療、認知症に関する専門的な相談、地域包括支援センターなどの関係機関との連携、認知症に関連する研修会の開催等の役割を担う、都道府県及び政令指定都市が設置する専門医療機関です。2011年に指定された当初から三田市との関わりが強かったのですが、2020年に市立伊丹病院が新たに認知症疾患医療センターに指定されて以降はさらに、三田市の方々への対応が当院の主な役割となっています。

年齢相応の認知機能と診断される方から、御自身は病識がなく御家族に説得されてやっと受診され重度のアルツハイマー型認知症と診断される方まで、様々な病状の方が当院を受診されます。年齢的にも、40代など比較的若い方から、90代の御高齢の方まで、幅広い年齢層の方に受診して頂いています。

甲状腺機能異常、カルシウム代謝異常、正常圧水頭症など、“治療可能な認知症”の可能性もあるため、御自身や御家族のものの忘れが気になり始めたら早めの受診がお勧めです。

当院のもの忘れ外来は水曜日と木曜日の午後に、完全予約制で実施しています。受診を御希望される方はかかりつけ医の先生に御相談ください。かかりつけ医療機関がない場合は当院にまずお電話で御相談ください。

今回のコラム提供者は、
国立病院機構 兵庫中央病院
認知症疾患医療センター センター長
山崎 浩先生です！
場所：三田市大原1314
TEL:079-563-2121(代表)



写真右：山崎 浩医師
認知症疾患医療センターセンター長

コラムへのご意見は、三田市地域包括支援センター(079-559-5941)まで